



寺 報

ともしび

第 160 号
26. 9. 5
発行 大性寺
ともしび文庫
TEL 36-3062
携 帯
09088606426

秋の永代経法要・彼岸会

九月二十日（土）

正午～

おとき

午後一時二十分～

お勤め

二時～

法話

本願寺派布教使 光輪寺住職

中島 洋晃 師

ご家族でお齋をいただきお参りください
お念珠、式章、経典を持参してください

「法統継承に際しての消息」

第二十四代即如ご門主から法統を継承され、専如さまが第二十五代門主に就任されました。六月五日の「御譲渡式」（ごじょうとしき）を終え、六日に御影堂で行なわれた「法統継承式」の中で、専如ご門主は初の「ご消息」を發布されました。（ご消息）とはお手紙のこと。様々なご縁に際して、歴代宗主がひろく伝えるために出される書簡をいう。）

本日、私は先代門主の意に従い、法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主に就任いたしました。

ここに先代門主の長きにわたるご教導に深く感謝しますとともに、法統を継承した責任の重さを思い、能う限りの努力をいたす決意であります。

釈尊の説き明かされた阿弥陀如来のご本願の救いは、七高僧の教えを承けた宗祖親鸞聖人によって、浄土真宗というご法義として明らかにされ、その後、時代の宗主方を中心として、多くの方々に支えられ、現代まで伝えられてきました。その流れを受け継いで今ここに法統を継承し、未来に向けてご法義が伝えられていきますよう、力を尽くしたいと思います。

宗門の過去をふりかえりますと、あるいは時代の常識に疑問を抱かなかったことによる対応、あるいは宗門を存続させるための苦渋の選択としての対応など、ご法義に順っていないと思える対応もなされてきました。このような過去に学び、時代の常識を無批判に受け入れることがないよう、また苦渋の選択が必要になる社会が再び到来しないよう、注意深く見極めていく必要があります。

宗門の現況を考えます時、各寺院にご縁のある方々への伝道はもちろんのこと、寺院にご縁のない方々に対して、いかにはたらきかけていくのかを考えることも重要です。本願念仏のご法義は、時代や社会が変化しても変わることはありませんが、ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていかねばならないでしょう。現代とい

う時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を結集する必要があります。

また、現代のさまざまな問題にどのように取り組むのか、とりわけ、東日本大震災をはじめとする多くの被災地の復興をどのように支援していくのかなど、問題は山積しています。

「自信教人信」のお言葉をいただき、現代の苦悩をもに背負い、御同朋の社会をめざして皆様と歩んでまいりたいと思います。

平成二十六年 六月六日
二〇一四年

龍谷門主 釋 專 如



第二十五代 專如御門主

法統継承式で「ご消息」を読み上げる大谷光淳門主
(6日午前11時26分、京都市下京区・西本願寺「御影堂」)
「京都新聞記事より写真を転載」

仏教婦人会

報恩講法要・追悼会

十月二十四日(金)

午前十一時半時〜 喫茶

正午頃〜 お斎

午後一時〜 追悼会 讃仏偈

報恩講 正信偈和讃

法話

本願寺派布教使 圓勝寺副住職

橘 行信 師

どなたさまもご自由にご参拝いただけますので
お誘いあわせてお参りください

各家庭でも報恩講(お取越)を!

秋は実りの季節です。その実りは、また次のいのちへとつながっていきます。秋はお念仏の実りの季節です。報恩講、この仏事は本山(西本願寺)・各寺院でも、一年で最も大切な仏事であります。本山の報恩講(一月九日〜十六日)にさきがけてつとめられることから「お取越」とも呼ばれています。各家庭でも、一年間の報恩の想いから、この仏事をおつとめいたしましょう。

キッズサンガ 十七名参加

八月五日～六日にかけて、子ども一泊研修・キッズサンガを行いました。今年は十七名の子ども達が参加してお寺での時間を、楽しく元気に過ごしました。

五日の午後、開会にはまず仏さまの前に座り、みんなで「らいはいのうた」をお勤めました。仏さまのお話を聞きました。工作では、それぞれに「世界にひとつだけのうちわ」を作り、陶芸ではお皿やカップなどを作り、出来上がりを楽しみに行っていました。

夜は楽しくバーベキュー。お肉も野菜もきれいになくなり遊びました。暗くなつてからは、花火や肝試しなど、しっかり遊びました。六日は、朝六時起床でラジオ体操。解散時には「また来年ね」と声を掛け合いながら、みんな元気に帰りました。

キッズサンガ友遊作品展

九月二十日(土)

～十月二十六日(日)

大性寺本堂内

子ども達が精一杯つくりました陶芸の力作を展示します。お参りの際には是非ご覧ください。



お浄土へ

法名 釋晃耀

小田 たず子 様 七十三歳 五月 二十九日

法名 釋久誓

遠山 久子 様 七十八歳 六月 三日

法名 釋惠照

井村 てる 様 九十五歳 七月 十五日

右の方がご逝去されました。

生前のご苦勞を偲び、哀悼の意を表します。

ともしび会

◇ お茶

九月 八日 (月)・・・午後一時半より
十月 十三日 (月)・・・午後一時半より

(会費二百円)

◇ ダーナお花畑

九月 十日 (水)・・・午後三時より
十月 十八日 (土)・・・午後二時より
(仏婦清掃奉仕お願いします)

◇ 仏婦清掃奉仕

十月 十八日 (土) 午後二時より
おみがき・廊下のワックスかけ・ガラス拭き
境内の草引き等、よろしくお願い致します。

時 鐘

☆ 六月十二日、黒野組仏婦総会が大性寺で開催され、川島節子さん、宇野英子さん、川島美保子さん、江尾康子さん、佐村美千代さん、佐村みどりさん、宇野真知子さん、高橋末子さん、川島文枝さん、牧野尚美さんが参加されました。

☆ 六月二十一日（土）、仏婦初参式、降誕会が勤められました。初参式では江尾春樹くん、高橋ゆりあちゃん、佐村陽太郎くん、日比琉之佑くん、大槻叡司くん、原愛莉ちゃん、原愛果ちゃんが、笑顔で阿弥陀さまにご挨拶しました。

大性寺ホームページ

初参式やキッズサンガなど、大性寺の行事案内や、その時の様子を掲載しています。

<http://daishouji.gifu.jp/>
ご覧ください。

携帯からも
見ることが
できます。



☆ 六月二十八日（土）、黒野組総代会総会・研修会が仏心寺で開催され、宇野邦朗さんが出席されました。

☆ 七月三日（木）、仏教婦人会研修会が西別院で開催され、江尾康子さん、川島文枝さん、牧野仁子さんが参加されました。

☆ 七月二十六日（土）、午後三時より境内清掃奉仕が行われ、四十二名の方が参加してくださいました。本堂・墓地の裏山の雑木の刈り取り、境内の草引き、仏具のお磨きなど、とても美しくしていただき、気持ちよくお盆を迎えさせていただきました。暑い中、ありがとうございます。

☆ 八月五〜六日、キッズサンガ子ども一泊研修を大性寺で開催しました。（別掲載）

☆ 八月十五日（金）、午後一時半から盆会が勤められ、正信偈をお勤めして、前住職の法話を聴聞しました。その後、お茶をいただきながら雑談に花が咲きました。暑い中ようこそのお参りでした。

☆ 七月、八月二十七日に念仏講が行われ、昼食の後、お勤めをして、法話を聞きました。

☆ 六、七、八月の椿野苑ボランティア法話会に、宇野倭香子さん、宇野英子さん、牧野尚美さん、牧野絢菜さんが行っていました。

☆ 六、七、八月のグリーンポートボランティアに、佐村喜久枝さん、佐村美千代さん、藤井和子さん、川島節子さん、牧野仁子さんが行っていました。